

新連載

専門店キヤッチアップ

専門店市場を読み解く

(1)

日本商業新聞では、全国の様々な立地・業態で展開している「化粧品専門店」の動きを、毎月テーマを設けながら追いかけていく新連載企画【専門店キヤッチアップ】を今号よりスタート！北海道からは「ピーハウス星の国アピア本店」、福島県「大野屋」、埼玉県「パーミディゴウ」、香川県「センコヤゆめタウン高松店」、愛媛県「フジカワ銀天街本店」の皆様にご協力を頂き連載を開始する。第1回目のテーマは「お店の紹介」と「コロナ禍での市場環境についてみていく。(中濃)」

スキンケア愛用者増

各メーカー2桁の好伸長

ピーハウス星の国

アピア本店 (北海道)

「ピーハウス星の国アピア本店」が伸びなが
アピア本店」4月度業績は、当店では昨春秋から
は、店舗全体売上110%のスキンケアセルによ
・9%、客数107・7%の肌診断からのスキンケ
%、客単価102・9%。アピア愛用者が顕著に育成で
でした。
個別売上状況として、スキンケア愛用者育成の流れが
は、コーセー154%、うまくいっています。
資生堂117%、ハリウ 資生堂も同様の流れは
ッド124%となりましうまくいっています。
た。コーセーは各種新規商品力による新規ではな



く、店頭展開力・
カラー診断等店頭
での努力による新
規獲得となつてお
り、ハリウッドに
関しては、デパー
トからの撤退後、
顧客が当店に来店
・固定化を行えた
事で伸びています
が、継続的な新規
獲得・スキンケア

禍での市場環境につい
したが、コロナ以降売上
は激減しました。しかし
《コロナ禍における状

北海道札幌市を中心
4店舗を展開している
「星の国商事株式会社」
です。創業は1948年、
今年のお店「ピーハウ
ス星の国」は移転前を
めて1952年から現在
の札幌駅地下街で展開
JR系列が管理している
「アピア」「エスタ」
セオ」「ステラプレイス」
と4つのSCから成り立
つ中、「アピア」という
SCで営業をしております。
札幌駅は年々商圏が拡
大しており、2019年
めでは周辺SCを含めて
1000億規模の売上上
ですが、コロナ以降売上
は激減しました。しかし
《コロナ禍における状

ながら、2030年頃の
新幹線開通に向け周辺
再開発が急速に進められ
商業施設の休業・時
短。密集地への行動自粛
・在宅勤務率上昇・イン
バウンドが無くなる等、

《当店の状況》

坪数は約29坪、取扱い
主要ブランドは、資生堂
(CPB・BQ)、コーセ
タッフ・美容部員さん
営業さんと共に現状打破
に向けて新しい事、美容
活動の推進に取り組んで
います。会社としては継
続的な教育訓練(2021
1年度約230時間/1
人)や助成金(2021
年度決算期約1400万
を蓄えています。

愛用者育成という大切な
部分がうまくいっておら
ず、先行きは不透明なの
で今年度中にこの流れを
作る為に動いています。
【お店の紹介とコロナ

比(2021年度は、
資生堂(38%)、コーセ
1年度約230時間/1
人)や助成金(2021
年度決算期約1400万
を蓄えています。